



野木小だより

平成30年2月22日
— 第11号 —
野木町立野木小学校長
生 沼 房 子

第2回学校評価結果をお知らせします

本校では、学校教育目標を達成するために**4つの努力点で16の重点項目**を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は年に2回実施し、第1回（7月：児童と教職員による自己評価）の結果は野木小だより第5号でお知らせしたとおりです。

今回は第2回にあたり、児童、教職員に加え保護者と地域の皆様にご協力いただきました。保護者の皆様にはすでに詳細な結果をご報告しましたが、地域の皆様にもこの紙面で簡単にご報告させていただきます。

※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」を選んだ人の割合が数値指標を達成できれば○、達成できなければ△としました。

【努力点1】行動しよう 《つよく》

心身ともにたくましい子どもの育成 (数値指標)	児童	教職員	保・地
からだを使った遊びや運動 (90%)	○	○	△
好き嫌いをなくさないで食事 (90%)	○	○	△
うがい・手洗い・歯みがき (90%)	○	○	△
安全な生活 (交通安全・避難訓練) (100%)	○	○	△

学校においては休み時間等に教師からの働きかけで外遊びをする姿が多く見られました。栄養教諭を講師とした食育の充実により、給食において好き嫌いをなくそうという意欲が高まっています。家庭や地域においても遊びや運動、食事や生活習慣づくりの推進のため、1月より「**パワフル健康カード**」の活用を始めました。保護者の皆さんの協力体制を大切にしていきます。

安全面では、交通安全・避難訓練ともに工夫した取組をしていきたいと思えます。

【努力点2】見つけよう 《あかるく》

思いやりのある心豊かな集団づくり (数値指標)	児童	教職員	保・地
あいさつ・言葉遣い (90%)	○	△	△
互いを思いやる行動 (90%)	○	○	○
自分のよいところ・とくいなこと (85%)	○	○	○
楽しく学校に登校 (90%)	○	○	○

あいさつ・言葉遣いに関する教職員・保護者地域の方の評価以外は全て指標を達成しました。

あいさつについては教職員の評価も昨年度より下がっています。保護者による声掛けボランティアの反省でも、あいさつができていないことがうかがえます。児童会によるあいさつ運動や全教職員での働きかけなど、工夫改善を図ります。

その他の項目については、よい状態と言えます。引き続き子どもたちが楽しく登校できるような学校づくりを推進します。

【努力点3】深めよう 《いきいきと》

分かる授業を通した確かな学力の保障 (数値指標)	児童	教職員	保・地
自分の思いを一行日記に書く (70%)	○	○	○
家庭学習 (宿題・自主学习) (80%)	○	○	○
読書 (80%)	○	○	△
授業の内容を理解 (80%)	○	○	○

連絡帳に書く一行日記により、書く習慣は身に付いてきました。内容についても指導しながら、表現力・思考力の育成を目指して継続していきます。

読書について、学校では朝の読書や読書週間における働きかけ等で本に親しむ習慣が身に付いてきています。家庭では様々な要因で本に親しめていない状況にあると思われます。家読について、図書館だよりや家読カードを活用して呼びかけていきますので、ぜひお子さんと一緒に読書を楽しんでいただきたいと思います。

【努力点4】つながろう 《連携》

家庭や地域、関係諸機関との連携による開かれた学校づくりの推進 (数値指標)	児童	教職員	保・地
各種たより、連絡帳 (90%)	○	○	○
保護者や地域の方との学習 (95%)	△	○	○
家の人に学校のことを話す (95%)	△	○	○
町小中スタンダード (言葉遣い) (90%)	○	○	△

子どもたちは多くのボランティアの方との関わりを通して、学習の幅を広げ深めることができました。ご協力ありがとうございました。

学校のことを家の人に話す児童の割合は、昨年度より下がりました。一行日記や連絡帳、各種たよりを親子の会話のきっかけにいただければと思います。

時と場合に応じた言葉遣いについては、引き続き小中連携を意識して取り組んでいきます。

今後とも様々な連携を進め「地域とともにある学校」の推進を図っていきたくと考えています。

地域の皆様からのご意見・ご提案

ありがとうございました

今回の学校評価自由記入欄には、地域の皆様からのご意見も多数寄せられました。

特に感銘を受けたのは、教職員への「地域の誇り・子どもたちの笑顔に支えられた野木小学校をよろしく願います。」というお言葉です。

私たち教職員から地域の皆様に向けて何かとお願いすることが多いものですが、逆にこうしてお願いされるとは、まさに来年度から始まるコミュニティスクールの理念のとおり、**学校は地域とともにあるのだ**と感じました。



野木小学校を愛する気持ちは、私たち教職員も負けてはいないと自負しております。しかし教職員の大多数が他地域から通う身であり異動も避けられません。こうして地域の方々が温かく野木小を、子どもたちを見守ってくださることを深く受け止め、日々の教育活動を推進していきたいと思えます。

※お寄せいただいたご意見等を一部ご紹介します。

〈ご意見〉

- ・通勤時にすれ違うときにあいさつしてくれてなんとなくうれしい気持ちになる。今後も伸ばしていってほしい。
- ・これから子どもたちが安全に登下校できるよう、地域住民としても協力する。
- ・野木小の子どもたちはあいさつのできるのびのびした子どもたちだといつも思う。これからも地域の一人として見守っていききたい。
- ・友達と遊ぶことや行動することが楽しくてしかたない感じは見えてほほえましく、子どもたちの活力をぜひ地域の方々と交えながら育ててもらい、野木大好きな子でいっぱいにしてほしい。
- ・児童の安全を考えると現状のパトロール隊が児童に付き添うのがベストと思われる。不審者はいつ児童をねらうか分からない。まして茨城との県境なので、この体勢が続くことを願う。

〈ご提案〉

- ・なかなか学校の門はくぐりにくいので、地域住民の参観日のような開放日を設定しては？
→運動会や野木小っ子祭り、演劇鑑賞会、学校公開日などに、どうぞ足を運んでください。招待状がなくても、地域の方でしたら大歓迎です。受付でお声かけください。
- ・地域の清掃活動を時々目にするが、地域を慈しむ心が育まれ、大人との交流も増えると考え。より発展した形で地域の人々と一緒に行える方策を考えては？
→小中合同クリーン活動や参道落ち葉掃きなどの際に呼びかけたいと思えます。

今年度最後の授業参観・懇談会

午前中は体育館でPTAソフトバレー大会が開かれ、楽しく汗をかきながら親睦が図られました。



その後4年生親子給食、5校時授業参観、登校班保護者会、学級懇談会と続きました。お忙しい中のご参加ありがとうございます。

4年生は二分の一成人式での作文発表、6年生は卒業を控えた今考えることについて、資料を提示しながらのスピーチをしました。一人一人が緊張しながら大勢を前に表現できました。他の学年も道徳や学活などの授業を見ていただきました。

授業中のお子さんの様子はいかがでしたか。家に帰ってどんな言葉をかけてもらうか、だれもがドキドキしています。たとえ目立った活躍はできなくても、頑張った姿を親から認めてもらえると安心するものです。日本人は我が子を褒めることを照れくさいと思う人が多いようですが、温かい言葉を、まるでシャワーのように存分に注いで大切なお子さんを伸ばしていきたいでしょう。

3学期も学外の先生方から学びました

【3, 4年 算数(そろばん)】

学校近くの珠算講師、並木先生に毎年教えに来ていただいています。3日間にわたって楽しく基礎を学びました。

【全学年 体育(サッカー)】



本校出身の根岸先生に、今年もまた指導していただきました。もう17年ほど続けて来られているとのこと。ボールを扱う技能のみならず、作戦を考えながら子どもたちがこれから生きていく上で必要な力についても熱いメッセージを伝えてくれました。「ようこそ先輩」というテレビ番組を見ているような、素敵な一日でした。

今年も交通安全のお守りをいただきました。

野木の小川様から、児童職員全員分の手作りのお守りをいただきました。我が子を交通事故で亡くされた経験から、毎年一つ一つ祈りをこめて折ってくださっているそうです。その思いを子どもたちにも伝えました。ありがとうございました。

